

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	福岡工業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フクオカコウギョウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	就業実習
	学部・研究科等名	工学部、情報工学部、社会環境学部
	担当教職員名・役職	阿山 光利(社会環境学部・教授)中野 美香(社会環境学部・准教授)宮本 知加子(FD推進機構・特任教員)
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	97
	受入企業等数	79
	受入企業等名	福岡県庁、福岡市役所、古賀市役所、新宮町おもてなし協会、久留米市役所、北九州市役所、小郡市役所、太宰府市役所 等株式会社九電工、九州電力株式会社、NTT西日本グループ(九州事業本部)、コカ・コーラウエスト株式会社、株式会社岩田屋三越、株式会社ベスト電器、株式会社ナフコ、株式会社三松、クレスコ九州株式会社、株式会社南福岡自動車学校 等
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ,5.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外で実施している就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	社員の指導のもと、企業が実際に抱える課題の解決のため、実地調査アンケートやWebプログラム開発などに取り組み、最終報告プレゼンテーションを行う。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している,2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次・3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	2.3年を対象に、夏季休業期間中の約1週間~1か月のインターンシップを組み合わせた教養キャリア教育科目「就業実習」として実施している。本科目では、インターンシップの実習およびその事前事後学習を通じて、企業や社会への理解を促し、就業意識を醸成し、今後の大学生活における目標を確かなものとする。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している,5.その他
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	グループワークを通して他者の考えを知ること、自らを振り返り高めていくきっかけとする。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている,4.その他
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	発表スライドを作成し、教員や先輩のアドバイスのもとに完成させ、ポスター発表形式で報告会を行う。
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等へ赴き、学生と面談を実施している,2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全2回の事前学習の中で、インターンシップの趣旨や目的の理解、目標設定等を行い、企業研究の課題を出す(第1回)。またビジネスマナー研修や、グループワークを通して企業研究や目標設定を共有する(第2回)。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	全3回の事後学習の中で、就業体験と自らの学びがどのようにつながったかを振り返る目的で、インターンシップ後のグループワークを行い(第1回)、教員や先輩の指導のもとスライドを作成し(第2回)、そのスライドを用いたポスター発表会や、企業担当者を招いた報告会を実施している(第3回)。

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	大学の教職員がインターンシップ中に学生と面談を行い、学生がインターンシップ中に作成する日誌も用いながら、現状確認や事前学習の際に設定したインターンシップ中の目標達成に向けた指導を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	教員が作成したルーブリックを用いて、学生のインターンシップ前後の変容を客観的に把握し、学生の自己理解を促す。これまでの学修の深化や今後の大学教育への動機づけに資するような指導を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間～5週間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間8日間(うちインターンシップ実施期間3日間)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	・古賀市役所、株式会社スミオン等において4～5週間のインターンシップを行っている。・福岡県庁、株式会社九電工等において、5～10日間のインターンシップを行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業にご理解いただいた上で、そのニーズにも応えられるようにするため、協働してプログラムを設計している。また、インターンシップ中にも受入企業担当者と本学教職員とで連絡を取り合い、受け入れに係る負担感の軽減に努めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	(就業実習概要) http://www.fit.ac.jp/sogo/kyouiku/fd/gp/program/pdf/practice.pdf (就業実習シラバス) https://unipa-dai.fit.ac.jp/up/faces/up/km/Kms00802A.jsp
問い合わせ先	大学等名	福岡工業大学
	担当部署名	FD推進室
	担当者役職名	次長
	担当者氏名	長谷川 純一
	電話番号	092-606-7370
	メールアドレス	o-fd@fit.ac.jp